

第 50 回 理事会議事録

特定非営利活動法人オリーブの家事務所(岡山県津山市中島 232 番地 11)

2022 年 7 月 18 日(月)午後 13 時 30 分～理事会を開催した。

当団体の理事総数 7 名

出席理事 7 名

山本康世、浅野肇之、森内忍

國吉和美、都築真敏、服部みさと、山本礼知

参加監事 1 名

野坂 和夫

出席正会員 3 名

砂子 浩、小西竣也

出席正会員(オンライン) 1 名

米森 千尋

以上のとおり理事の過半数以上が出席及び欠席者からは委任状を受理したので、理事長山本康世が議長となり、開会を宣し議事に入った。

議案 当団体の活動報告及び今後の活動予定について

先月からの活動報告及び今後の課題、予算案、活動の広報について協議、検討を行った。

概要は次のとおりである。

(1)活動報告事項

○会員数、寄付金報告

・2022年度（7月分）

個人正会員 10 口 50,000 円

寄付金 77 件 1,467,041 円

READYFOR 継続 6 月 56 件 107,000 円

シンカブル 10 件 73,534 円(正会員 10 口含む)

未来シフト 1,000,000 円

GCOOP 133,517 円

今年度累計（4 - 3 月分）

寄付金 292 件 3,327,876 円 正会員個人 20 口 100,000 円 賛助会員 2 口

○相談者数報告

・2022年度（2022年4月1日～第50回理事会開催時点）

DV 被害 女性 122 件 男性 14 件 子ども 2 件

DV 加害 男性 5 件

貧困母子家庭 計 29 件

ストーカー被害 計 2 件

行政機関団体その他 計 40 件

○保護人数及び保護依頼状況(2022年7月)

保護依頼 計 10 件 退所 2 名 継続 10 名 新規 1 名

保 護 計 11 名 (同伴児童含む) (詳細は別紙参照)

(2)主な事業の課題と予算の審議事項

1. 一時保護シェルター運営について

- ・ 報告についての改善事項を改めた。契約書の改善を行った。リスクマネジメントを行った。
- ・ 業務負荷軽減のため、シェルター入所者とのコミュニケーション削減を始めた
 - ① 外出する際、他者とコミュニケーションを取らない場合は、LINE 連絡不要とした。発達障害の方は、別途絵文字を含め、対応を柔軟にしている。
 - ② シェルター入所者との契約書文面をアップデートした
 - ③ シェルターが利用できる行政サービスあり
⇒リサイクルセンター（リサイクルプラザ）を活用する等
 - ④ 業務マニュアルも改善中
 - ⑤ シェルター入所・退所時のボランティアを募っていく予定
- ・ 物件売買を検討し、ありき不動産
- ・ 告知問題について
- ・ 昨年度の状況や現在の状況を踏まえて、常にシェルターが満室で稼働している状況で現在は何とか取りこぼしなく支援ができていたが、今後、増加が予想されるためシェルターの確保に関わる情報があれば、提供して欲しいと参加理事に情報を投げかけた。⇒岡山市のアパートメント物件の情報あり。低価格のため、既存シェルターの査定や売却が完了した際にその資金を運営資金にして、確保する事も検討する。
- ・ シェルター入居者への食糧及び生活用品等の支援
寄付によるふるさと納税返礼品での食料支援継続中
岡山 NPO センターを通じての食糧寄付
ライオンズクラブ、支援者（一般）からの食糧寄付
Amazon みんなの応援プログラムで生活用品、子ども用日用品など寄付依頼
- ・ 政策提言について7月12日に岡山県労働組合の会館で、参議院の議員にオリーブの家の実態についてのお話をした。民間シェルターの指針や行政機関も業務がひっ迫しており、行政の理解も進めていく必要があるのではとご助言いただいた。
- ・ 2021年度の利用者の傾向をデータとしてまとめたため、そのデータも持参し、議員にも共有した。当事者の声をどのようにしていくのかなどについての話も出た。
- ・ シェルターの現状について
満室。今月、居住支援を行い1名が退所された。来月、倉敷の家族が退出予定。
改修が必要なシェルターは、今後固定費をどのようにしていく必要があるのかを検討していく。→1人部屋の必要性。

2. カウンセリング事業課題

- ・毎月実施しているさんさんの無料カウンセリングは、現在予約でいっぱいだが傾向として男性の需要が増えているとのこと。また傾向として加害者、被害者ともに過去に虐待を受けているケースがほとんどで、負の連鎖になっていると理事長よりお話があった。
- ・KOTOMO 基金⇒報告動画を岡山 NPO センターさんが作成してくださる予定。支援者に訴える。この動画を他の団体や関係機関にも発信していく予定。
- ・電話でのカウンセリング事業
電話でのカウンセリングを行うための相談員のスキルアップ勉強会開催

3. DV 被害者セーフティーネット強化パイロット事業⇒内示通知あり

(1) 今後、倉敷、県南の業務、SNS の取り組みを強化

(2) カンファレンス実施

(ア) DV 被害のマニュアル冊子を作り配布する

- ① 現状、予防・コミュニケーションに関しての情報が不十分。なので、そこを強化したようなマニュアル冊子を作成予定。
- ② 現段階は、コピーの様なもの。今後は、我々のデータも反映したもので、もっとちゃんとした感じの冊子を作成し配布したい。
- ③ 個人に向けて、色々な DV のタイプに合わせた個別の HOW TO を記載したものも考えている。→個別のプログラムとして提供。また、プログラムを体験した人には、FB をもらい、効果検証を行う。

4. その他

- ・JR 西日本あんしん社会財団のセミナー事業で、お手伝いしていただいているカメラマンの方が製作された映画の上映会を関係者含め、どこかで実施できないかとの提案が前回の理事会であり、岡山県県立図書館で上映会が決定した。
⇒正会員の砂子、事務局が監督の中村さんと連絡を取り、日程や当日の詳細について打合せを行う。
- ・一般社団法人青い鳥（居住支援法人・シェルターから出た母子の為のサポート支援をされている）と今度打合せをする。（7月下旬予定）
- ・セミナー予定
⇒今後のセミナーでは、2か月前位から告知を出していく
- ・校外学習（キッザニア）
⇒車の手配も出来て9月に行く予定、メンバーもすでに決定。
⇒6:30AM に出発予定。遠方から参加する子どもたちは事務局に前泊する。

(下記事項については全員で確認及び作業)

- 奇数月に名簿のチェック
- 寄付者への領収書・文章送付は、発生次第随時行う (Ready for 以外も)
- 事務所での整理整頓、書類整理等の課題については、随時各担当者主体に行う

☆次回理事会開催予定☆

日 時 2022年8月13日(土) 午後13時30分～午後15時30分

場 所 当団体事務所 (岡山県津山市中島232番地11)

理事長、理事及び会員により弊社の今後の活動方針の協議を執り行った。事業課題と予算及び資金調達について話し合い、その承認の可否につき審議した結果、以下のとおり全員一致をもって承認可決した。

記

今後の活動予定及び方針等について、承認する。

以上をもって議事を終了したので、議長は午後15時00分に閉会を宣した。

上記の決議を明らかにするため、この議事録を作成し、議長及び本会議で選出された議事録署名人2名が以下に記名押印する。

2022年7月18日

特定非営利活動法人オリーブの家 理事会

議長 理事長 山本 康世



出席理事 國吉 和美



同 服部 みさと

